

# CASE

02

友人が1カ月大学に来ない。  
原因はわからないが  
「退学する」と言っている。

## 悩みと相談

サークルの友人が1カ月ほど前から大学に出てこなくなりました。心配なので電話してみましたがつながらず、本人のアパートに行ってみたところ、鍵をかけて玄関を開けてくれませんでした。玄関ごしに話したら「部屋から出たくない誰にも会いたくない。大学もやめるつもりだ」と言っていました。原因はよくわかりません。(男子学生1年)

## 対応策

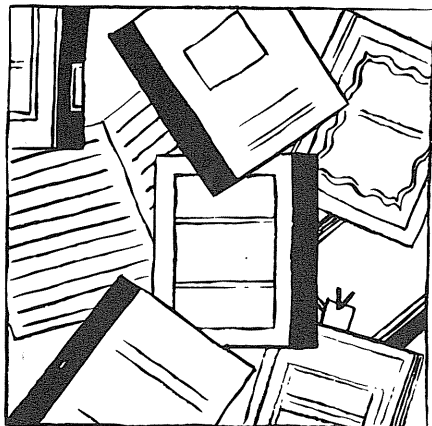
引きこもりとみなすのは以下のような場合で、圧倒的に男子に多い問題です。

- ① 6カ月以上続いて大学への通学、サークル活動などができずほとんど自室にいる。
- ② 重篤な身体的・精神的疾患はなく、あってもそれだけで引きこもる理由にはならない。
- ③ 家庭や学校には、就学できないような経済的問題、その他の正当な理由がない。

引きこもりは、授業についていられない、卒論や就職など重要なことに失敗したといった精神的ダメージが原因になる場合が多いのですが、レポートが書けない、履修の仕方がわからない、大勢の雰囲気や圧倒されたなど、周囲の人には理解しにくい、ちょっとしたことが引き金になる場合もあります。また、引きこもりの学生

には、空き時間を作らず目一杯履修登録をしたり、指示された文献をすべて読まないと気がすまないなど、自らを追い込むことで焦燥感、緊張感、自己不全感、劣等感などにさいなまれてしまう例が少なくありません。

一度引きこもってしまうと本人が相談に来ることはほぼ不可能ですし、表に出ないまま退学してしまうこともあります。問題に気づいたときは、保護者や友人に相談室を訪ねてもらい、状況を聞いたうえでカウンセリングや心理療法、あるいは近隣の医療機関などを紹介するなどの対応策を検討します。



## POINT — ●ここがポイント

引きこもりは、授業での発表に恐怖感を覚える、雑然とした学食では食事がとれない、誰かに頼み事ができない、逆に頼み事をされると断れないといった性格も大きな原因となります。専門家でないに対応・治療は困難ですので、安易なアドバイスは控えましょう。